

製品名: CHD3 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86920**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW:227 kDa; Observed MW:260 kDa

抗原情報

遺伝子名	CHD3
別名	ZFH; Mi-2a; Mi2-ALPHA
遺伝子 ID	1107
SwissProt ID	Q12873
免疫原	ヒト CHD3 の合成ペプチド

背景

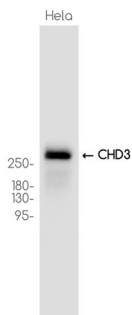
この遺伝子は、クロモ（クロマチン構造修飾因子）ドメインと SNF2 関連ヘリカーゼ/ATPase ドメインの存在を特徴とする CHD ファ

ミリータンパク質のメンバーをコードしています。このタンパク質は、Mi-2/NuRD 複合体と呼ばれるヒストン脱アセチル化酵素複合体の構成要素の一つであり、ヒストンを脱アセチル化することでクロマチンのリモデリングに関与しています。クロマチンリモデリングは、転写を含む多くのプロセスに不可欠です。皮膚筋炎患者の一部には、このタンパク質に対する自己抗体が認められています。異なるアイソフォームをコードする3つの選択的スプライシング転写産物が報告されています。[RefSeq 提供、2008年7月]

研究分野

-

画像データ



CHD3 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した HeLa 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。